

科目名	地理総合		必修	使用教材	新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院） 新地理資料 COMPLETE2023（帝国書院）
学年 学級	1 年全クラス	単位数	2	教科 担当	長村、木内

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	<p>第 1 部 地図でとらえる現代世界</p> <p>第 1 章 地理情報とシステム</p> <p>地球上の位置と時差／地図の役割と種類</p> <p>第 2 章 結び付きを深める現代世界</p> <p>現代世界の国家と領域／グローバル化する世界</p> <p>第 2 部 国際理解と国際協力</p> <p>第 1 章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>生活文化の多様性／世界の地形と人々の生活／世界の気候と人々の生活／世界の言語・宗教と人々の生活</p>	<p>第 1 部</p> <p>第 1 章：地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解するとともに、情報の収集、読図、まとめる技能を身に付ける。</p> <p>第 2 章：世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察する。</p> <p>第 2 部</p> <p>第 1 章：世界の人々の生活文化について、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。</p>
2 学期	<p>歴史的背景と人々の生活／世界の産業と人々の生活</p> <p>第 2 章 地球的課題と国際協力</p> <p>複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>地球環境問題／資源・エネルギー問題</p> <p>／人口問題／食料問題／都市・居住問題</p>	<p>第 2 章：世界各地で見られる環境、資源・エネルギー、人口、食料、都市問題などの地球的課題について、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察するとともに、そこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</p>
3 学期	<p>第 3 部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第 1 章 自然環境と防災</p> <p>日本の自然環境／地震・津波と防災／火山災害と防災／気象災害と防災／自然災害への備え</p> <p>第 2 章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>第 3 部</p> <p>第 1 章：自然環境と防災について、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、そこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</p> <p>第 2 章：生活圏の調査と地域の展望について、そこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</p>

科目名	歴史総合		必履修	使用教材	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える (山川出版社) 歴史総合用語解説 (山川出版)
学年 学級	1 学年 普通科・創造理数科	単位数	2	教科 担当	武藤 津野田

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期 中間検査まで	第 1 章 結びつく世界と日本の開国 18 世紀の東アジアにおける社会と経済 貿易が結んだ世界と日本 産業革命 中国の開港と日本の開国 第 2 章 国民国家とナショナリズム 市民革命 国民国家とナショナリズム	第 1 章 アジア諸国と欧米諸国の関係の変容のなかで、伝統と文化、交流について主体的に学習に取り組む。 第 2 章 国民国家や帝国主義の特徴、植民地とされた地域について学び、他国を尊重する態度を養う
1 学期 期末検査まで	明治維新 日本の産業革命 帝国主義 変容する東アジアの国際秩序 日露戦争と東アジアの変動 近代化と現代的な諸課題	第 2 章 国民国家や帝国主義の特徴、植民地とされた地域について学び、他国を尊重する態度を養う
2 学期 中間検査まで	第 3 章 総力戦と社会運動 3 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ～第 4 章 経済危機と第二次世界大戦 3 日中戦争への道	第 3 章 第一次世界大戦後の国際協調体制の成立と限界について理解を深め、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う 第 4 章 第二次世界大戦の惨禍や大戦下の人々の生活を通して、生命を尊ぶ態度を養う。
2 学期 期末検査まで	第 4 章 経済危機と第二次世界大戦 4 第二次世界大戦の展開 ～第 5 章 冷戦と世界経済 2 東西両陣営と 1960 年代の社会	第 5 章 冷戦下の紛争地域と脱植民地化や地域連携について学び、他国を尊重し、国際社会の平和について考察できる。
学年末 検査まで	第 5 章 冷戦と世界経済 3 軍拡競争から緊張緩和へ ～第 6 章 世界秩序の変容と日本 10 現代と私たち	第 6 章 地域紛争が多発する現代における国際連合の役割と安全保障の問題などの事例を通して、正義と責任、および国際平和について考察できる。

科目名	公共		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	公共（実教出版） 最新図説 公共（浜島書店）
学年 学級	2年全クラス	単位数	2	教科 担当	山田駿 和智博雄

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学 期	中間考査 まで 第1部 公共の扉 倫理分野 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 他者とともに生きる 第4章 民主社会の倫理	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。
	期末考査 まで 政治分野 第5章 民主国家における基本原理 第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本原理について理解させる。
2 学 期	中間考査 まで 経済分野 第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活	・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。
	期末考査 まで 国際分野 第1章 国際政治の動向と課題 第2章 国際経済の動向と課題	・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。
3 学 期	学年末考査 まで 第3部 持続可能な社会づくりの主体となる 私たち	この科目のまとめとして位置付け、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で扱った課題などへの関心を一層高める